

台風6号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり本日9時頃に台風6号が発生し、今後、週末にかけて近畿地方から東日本太平洋側への接近・上陸が予想されております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風6号の進路予測

7月26日午前11時7分の気象庁予報部発表によると、台風6号は潮岬の南南東から時速およそ20キロの速さで北へ進んでいます。中心の気圧は1000hpa、中心付近の最大風速は18m、最大瞬間風速は25mです。

台風は北ないし北西に進み、27日(土)朝には紀伊半島付近に上陸、その後進路を東よりに変えて東日本太平洋側を進むと予想されています。近畿地方と東日本太平洋側では、本日から週末28日(日)にかけて大雨となるおそれがあるため土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒が必要です。

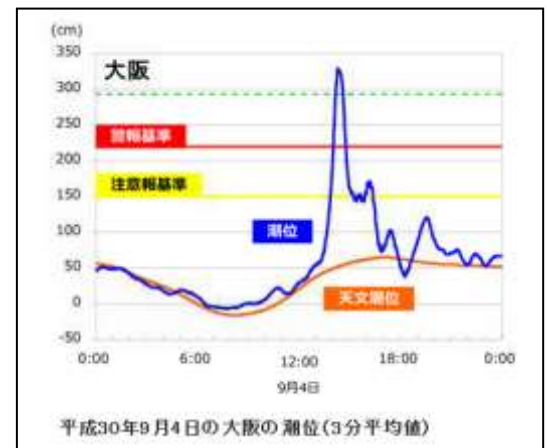


台風6号の進路予測 (7/26 午前10時気象庁発表)

2. 事前の対策について

右図は昨年近畿地方を中心に暴風や高潮等をもたらした台風第21号が、近畿地方を縦断したときの潮位変化を示したものです。瞬間値で天文潮位(図の橙線)よりも277cm高い潮位(図の青線)を観測しており、台風襲来時の高潮リスクの大きさを示す結果となりました。台風の接近が満潮時と重ならないからといって安心はできません。事前に十分な対策を講じることをお勧めします。

台風対策の基本は、風雨からの『遮断』と浸水に対する『高所避難』となります。台風到来直前の主なチェックポイントと対策をご紹介します。併せて、**現場用点検チェックシート**を添付致しましたのでご活用下さい。



台風21号発生時の潮位変化 (出典: 気象庁)

<気象情報と事前対応>

- ✓ 気象情報をこまめに取得し、過去の災害事例などと共に関係者と共有する
- ✓ どのタイミングで何をするのか、具体的な事前対応について再確認する

<屋内保管貨物>

- ✓ 「ネステナー」「パレットサポート」などを活用して貨物を嵩上げする
- ✓ 高層ラックにおいては、高い棚に貨物をはい替える
- ✓ 倉庫2階やメザニンなどの高所に貨物を避難させる
- ✓ 空きトラックの荷台に貨物を避難する
- ✓ 近隣に安全な倉庫がある場合は重要貨物を避難させる

<屋外保管貨物>

- ✓ 可能な限り貨物を屋内へ避難させる
- ✓ やむを得ず屋外保管をする場合は、屋外のなかで最も地盤高が高く、強風や波を直接受けない安全な場所へ移動させる
- ✓ 防水シートやカバーで保護し、強風で飛ばないように、貨物・防水シート・カバーは強固に固定する

<倉庫・設備>

- ✓ 建物開口部から浸水しないよう止水装置を設置する
- ✓ 排水溝を清掃し、排水能力を確保する
- ✓ 電気系統などの重要な設備は厳重に止水対策を講じる
- ✓ 窓・扉等の開口部の内側を養生する
- ✓ エレベーターなどを2階以上に移動させておく



【出典】 気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html